

(公財) 愛知臨海環境整備センター	
作成	平成 30 年 4 月 2 日
一部改正	令和 2 年 3 月 19 日
一部改正	令和 3 年 3 月 1 日
一部改正	令和 4 年 3 月 29 日

継続割引の継続年数に係る特例の運用基準

- 運用開始日：平成 30 年 4 月 1 日
- 排出事業所の最終処分量（弊処分場以外への搬入量を含む。）の減少に伴い、弊処分場への搬入が規定量未満となることが、理由書によりデータ等で具体的に示された場合
→「やむを得ない事情」により継続とみなす。

＜やむを得ないとみなされる具体的な事情＞

- ・活動量（工場における生産量、廃棄物中間処理施設における処理量等）の減少に伴う最終処分量の減少
- ・施設の休廃止・改修に伴う最終処分量の減少
- ・リサイクル率の向上による最終処分量の減少
- ・事故・災害に伴う最終処分量の減少

- 規定量の計算は原則、前年度の搬入実績量を用いる（やむを得ない事情でも同様）。
ただし、やむを得ない事情が次年度に終了した場合
→規定量の計算には前々年度の搬入量（規定量以上の搬入あり）を用いる。
- ※ やむを得ない事情により継続年数に係る特例を受けたい場合
→搬入事業者は次年度の4 月 14 日（注）までに理由書（別紙様式）を提出
（注）同日が弊財団の休業日の場合、4 月 14 日以降で最も早い営業日
→弊財団は上述の運用基準により理由を審査し、速やかに認否を通知
- ※ 割引が重複する場合の割引適用方法
基点量超過割引を、他の割引（継続割引、鉦さい割引）に優先して適用する。
このため、基点量を超える搬入分は、全量を基点量超過割引の対象とする。

(参考) 継続年数の考え方

(例1) やむを得ない事情があると認められる場合

年 度	X 年度	X+1 年度	X+2 年度	X+3 年度
搬 入 量	規定量未満 ^{※注}	規定量以上	規定量以上	規定量以上
継続年数	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目
割 引 率	15%	20%	25%	30%

※注 搬入量が0tの場合には契約は一旦解除となるが、再度契約を締結した場合、継続とみなす。

(例2) やむを得ない事情があると認められない場合

年 度	X 年度	X+1 年度	X+2 年度	X+3 年度
搬 入 量	規定量未満 ^{※注}	(規定量なし)	規定量以上	規定量以上
継続年数	2 年目	1 年目	2 年目	3 年目
割 引 率	15%	0%	15%	20%

※注 搬入量が0tの場合には契約解除となり継続年数は途切れる。次回の契約・搬入時が1年目。

(参考) 継続割引の概要

期間：平成28年4月～令和6年3月

対象：産業廃棄物（鉦さいを除く。）及び一般廃棄物

内容：規定量（前年度搬入実績量の80%）を超えて搬入された量（超過量）に対し、過去からの継続搬入年数に応じて15%～30%割引相当の継続割引単価を適用

(※一部制度変更 平成30年4月～)

変更内容：年度搬入量が規定量未満の場合は継続年数が途切れる。

(やむを得ない事情がある場合を除く。)

理 由 書

年 月 日

公益財団法人愛知臨海環境整備センター
理事長 竹 鶴 隆 昭 様

住 所
名 称
代表者名

年度における から衣浦港3号地廃棄物最終処分場への搬入実績量（鉱さい及び建設発生土を除く。）が、公益財団法人愛知臨海環境整備センター（アセック）の定める継続割引制度の規定量未満となりましたが、その理由は下記のとおりです。

記

以上

※ 搬入量の減少の原因（廃棄物排出量の減少、リサイクル率の向上など）について、具体的な理由及び数値を記載してください。また、搬入量減少が終了する時期の見通しについても、具体的に記入してください。

（例：××の理由により、廃棄物排出量が R2：〇〇トン→R3：△△トンに減少するが、R4には〇〇トン程度に回復見込み など）

※ 本理由書に押印は必要ありません。

理 由 書

年 月 日

公益財団法人愛知臨海環境整備センター
理 事 長 ○ ○ ○ ○ 様

住 所
名 称
代表者名
印

年度における〇〇会社△△工場から衣浦港3号地廃棄物最終処分場への搬入実績量（鉱さい及び建設発生土を除く。）が、公益財団法人愛知臨海環境整備センター（アセック）の定める継続割引制度の規定量未満となりましたが、その理由は下記のとおりです。

記

施設の一時改修により、アセックに搬入可能な最終処分量が下表のとおり減少したため、この全量をアセックに搬入しても、規定量未満となる。

なお、令和3年度中に施設改修が終了するため、令和4年度の搬入量は令和2年度と同等程度まで回復する見込みである。

区分	量		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度（見込み）
最終処分量（アセックと受入契約のある品目）	〇〇トン	△△トン	〇〇トン
アセックへの搬入量	〇〇トン	△△トン	〇〇トン

以上

※ 搬入量の減少の原因（廃棄物排出量の減少、リサイクル率の向上など）について、具体的な理由及び数値を記載してください。また、搬入量減少が終了する時期の見通しについても、具体的に記入してください。

（例：〇〇の理由により、廃棄物排出量が R2：△△トン→R3：××トンに減少するが、R4には△△トン程度に回復見込み など）

※ 本理由書に押印は必要ありません。